

開校準備状況の お知らせ

新設校だより

第7号（令和3年9月27日発行）
みどり市教育委員会教育総務課
新設校準備係



今回は、笠懸西小学校の給食提供方式についてお知らせします。笠懸西小学校の給食は来年4月の開校時には、大間々学校給食センターから配食する予定です。そのため、これまで慣れ親しんできた自校給食からセンター給食への変更に不安を感じている児童や保護者の方もいらっしゃるかと思います。そこで、笠懸西小学校の給食をセンター方式とした経緯や、センター給食の内容などについてお知らせします。なお、今回は、今後の笠懸町全体の給食提供方式に関する内容も掲載していることから、笠懸町の全ての学校に配布させていただきます。

検討の経緯

◆笠懸町の各校の給食提供方式は、開校以来自校方式を採用しているため、新設校の給食提供方式も地域の特色として自校方式を採用することが望ましいと考える方がいらっしゃるという点や、持続可能な行政運営を行うためには経費面の検討が必要である点などを踏まえた上で、自校方式、センター方式等の給食提供方式の比較検討を行いました。

◆そうした中、令和元年（7～9月）に、新設校の給食提供方式検討のため、笠懸小学校及び笠懸幼稚園の保護者（希望者）を対象に大間々学校給食センターで給食試食会を実施しました。試食後のアンケートで、新設校の給食提供方式についてお聞きしたところ、「方式にはこだわらない」が一番多く、次いで、「自校方式」、「センター方式」の順番でした。また、アンケートの自由記述では、自校方式支持の理由として「食育に優れている」、センター方式支持の理由として「設備面、衛生面で優れている」、方式にはこだわらないとする理由として「安全・安心でおいしい給食の提供」、さらには、アレルギー対応を望む声など様々なご意見をいただきました。

◆そして、特に自校方式を支持する方の自由記述内容をていねいに分析した結果、自校給食の良さと言われていた点の多くが大間々学校給食センターでも対応可能であるとともに、それまで本市では未実施となっていたアレルギー対応を大間々学校給食センターで開始することでさらに充実した給食が提供でき、保護者の方の信頼に添えていくことになると考えました。あわせて、経費面で優位なことから、新たな教育需要に対応していけるものと考えました。なお、アレルギー対応については、一部献立において令和3年度からアレルギー対応食の提供を開始することとし、現在、市内全校に配送しております。

◆こうしたことから、新設校の給食提供方式については、当面の間、大間々学校給食センターから配食することとし、将来的には、施設等の老朽化が懸念されている笠懸町各校の給食提供方式に関する今後の検討結果を踏まえて対応していくこととしました。

◎笠懸西小学校の給食提供方式については、みどり市議会において、令和3年3月に市民や保護者の方々への十分な説明などを求める附帯決議が決議されておりますので、今後、説明の機会を設けて参ります。

笠懸町全体の給食提供方式について

◆給食提供方式に関する議論の中で、令和2年度一般会計予算審議において、笠懸西小学校の給食提供方式について自校方式への再検討や大間々学校給食センターのアレルギー対応の改善を求める附帯決議が市議会にて議決されました。

◆そこで、市教育委員会では、笠懸町全体の将来的な給食提供方式について、他自治体の給食施設視察やみどり市内での両方式の試食を行うなどの検討を重ねるとともに、より専門的かつ客観的な見地から検討するために、令和2年8月に有識者によるみどり市笠懸地区学校給食提供方式検討委員会を設置し、4回に渡り検討していただきました。

◆そして、今年3月、検討委員会の報告も踏まえ、市教育委員会としては、将来的にはセンター方式を採用することが望ましいとの考えに至りました。なお、議論の中では、新たな給食センターを建設する場合の財源として、令和7年度で期限を迎える「合併特例債」の活用も検討しましたが、現時点で、令和7年度までの建設計画はなく、笠懸町各校の給食提供方式をすぐに変更するというものではありません。

◆今後センター方式への転換については、市民の皆様との合意形成を図ることが重要と考えており、丁寧に説明を進めて参りたいと考えております。

「みどり市笠懸地区学校給食提供方式検討委員会」の会議資料、報告書等は、市HPにてご覧いただけます。
トップページ>組織から探す>教育部>教育総務課提供情報表示>笠懸地区学校給食提供方式検討委員会

裏面もご覧
ください

大間々学校給食センターの給食について Q&A

Q & Aは今後、市HPにも掲載し随時更新していきます。

センター方式の給食について、不安にお感じになると思われることを挙げてみました。他にもご心配な点がありましたら、遠慮なく質問としてお寄せください。

<Q>給食センターの給食は配送するため、給食が冷たくなってしまわないのでしょうか？

<A>子供たちが食べる時に給食が冷めることはありません。センター方式では配送が必要となりますが、保温性の高い二重食缶（2時間以上保温可能）を使用しているため、温かさには差はありません。

【実測結果:同じ日の同じ献立のスープで比較】

- 自校方式 …… 75℃
- センター方式 …… 74℃

二重食缶



<Q>自校方式の給食は手作りで、センター方式の給食は手作りでないのですか？

<A>手作りをしている献立はどちらも同じです。方式の違いによる差はありません。



<Q>センター給食は麺類が伸びてしまい、美味しくないのでしょうか？

<A>自校方式の麺類は煮込み麺で、センター方式では、うどんやラーメンはパック麺を使用しております。パック麺の場合、食べる時に麺を汁（スープ）の中に入れるため喫食前に伸びることはありません。大間々学校給食センターのラーメンは、大間々の子供たちの人気メニューランキングの3位となっており、とても人気のあるメニューです。また、スパゲティーは、喫食時間に丁度良い堅さになるよう、配送時間を考慮して茹でておりますので、伸びることはありません。

大間々学校給食センターの献立の一例
(スパゲティー)



<Q>自校方式の方が調理員さんが近くにいるので食育が推進されるのではないのでしょうか？

<A>市教育委員会では、食育とは、食材や給食を作った方々への感謝の気持ちを育むことや、「食」に関する知識や「食」を選択する力を習得して健全な食生活を送れるようにすることと捉え、5名の栄養教諭等が協力して自分の配置校以外へも食育授業で訪問するなど市全体で統一した取組を進めています。また、自校方式の良さとして、栄養教諭や調理員が近くにいることが挙げられます。一方、大間々学校給食センターにおいても、GIGA スクールの一環として、タブレットによる動画配信等を通じて子供たちと調理員との距離が近く感じられるような取組を行っております。

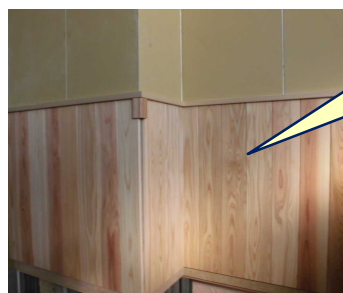
<Q>令和7年度までに笠懸町に新たに給食センターを建設すると聞きましたが本当でしょうか？

<A>現時点で令和7年度までの建設計画はなく、笠懸町の給食提供方式をすぐに変更するものではありません。センター建設の場合は、市民の皆様との合意形成を図りながら進めていきたいと考えております。

新設校の建設工事の進捗状況 工事は順調に進められております。現在屋根が設置され、本格的に内装工事が進められております。また、一部外壁の塗装も始まりました。



屋根全体に防水対策が施されたところ です。



教室の腰壁です。みどり市産材である杉の木が使われています。

1, 2階の外壁の塗装が始まりました（白色）。3階は茶色になります。



保護者説明会と大間々学校給食センターの給食試食会について

★笠懸西小学校の保護者説明会について、当初地区ごとの開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、現在、オンライン開催や動画配信等の方式を検討しております。準備が整い次第ご案内いたします。

★センター方式の学校給食について保護者の皆様のご理解を深めていただくために、大間々学校給食センターで調理した給食の試食会を設けていきます。新型コロナウイルスの感染状況を見極めながらご案内していきます。

【お問合せ】

みどり市教育委員会
教育総務課新設校準備係

TEL 0277-76-9844

FAX 0277-76-1954